

原田病院外来診察担当表 (2022年6月1日～)

●診察時間:午前9時～12時 午後4時～6時 ●受付時間:午前8時30分～12時 午後3時30分～6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□ 一般内科外来 □ 糖尿病外来 □ 泌尿器科外来 □ 整形外科外来 □ 慢性腎臓病 (CKD) 外来 □ 腹膜透析 (PD) 外来

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 外来	1診	山下 (和)	山下 (秀)	重本	西澤	荒川	重本
	2診	土井俊樹	西澤	水入	水入	山下 (秀)	山下 (和)
	3診	佐々木	大下	土井俊樹	中野 (喜)	大下	佐々木
	4診 DM	小林 (貴)	小林 (貴)	田中	向井	向井	広大
	5診	安達	原田	—	小林 (貴)	大久保	(第1・3・5週目) / (第2・4週目) 土井俊郎 / 岡野
	6診 初診	森井	浅野	大久保	森本	弓場	小林 (知)
	7診	藤井 (血液内科)	藤田	藤田	藤田	藤田	広大
	8診	—	—	—	—	—	浅野
午後 外来	1診	15:30～16:00 (予約) / 16:00～18:00 荒川	15:30～16:00 (予約) / 16:00～18:00 山田	15:00～16:00 (PD) / 16:00～18:00 土井俊樹	15:30～16:00 (予約) / 16:00～18:00 山田	15:30～16:00 (予約) / 16:00～18:00 弓場	16:00～18:00 浅野
	2診	14:30～16:30 (不定期) 呼吸器 濱田	14:00～16:00/16:00～18:00 呼吸器/一般内科 宮本	15:30～16:00 (予約) / 16:00～18:00 森本	14:00～16:00 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	15:00～17:00 広大
	3診	—	14:20～16:00 水入	13:30～16:00 (第1・3・5週) 血液 藤野 (啓)	14:40～16:20 水入	14:30～16:00 西澤	16:00～18:00 森井
	4診	—	14:30～16:30 (第2・4週) 循環器 中野 (由)	—	14:00～17:00 循環器 橋本	—	—
	5診	14:30～17:30 中島	15:30～17:30 原田	16:00～18:00 呼吸器 中野 (喜)	15:00～18:00 吉岡	12:00～14:30 移植シャント外来 札幌	—
	7診	13:00～16:00 フットケア 大下	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 荒木	14:00～17:00 循環器 秦	—	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 茂久田	—
	8診	—	12:00～14:30 移植シャント外来 札幌	—	—	—	—

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

一陽会

原 田 病 院	院長 重本 憲一郎
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号 TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035	
一 陽 会 ク リ ニ ッ ク	院長 碓井 公治
〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号 TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037	
デ イ ケ ア あ さ ひ	所長 寺沢 由香
〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号 TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600	
イ ー ス ト ク リ ニ ッ ク	院長 有田 美智子
〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115	
横 川 ク リ ニ ッ ク	院長 内藤 隆之
〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155	
グ ラ ン ホ ー ム あ さ ひ	施設長 三上 タ子
〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号 TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600	
クローバー訪問看護ステーション クローバー居宅介護支援事業所	所長 木村 美智代 所長 平田 恵美
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号 (原田病院内) TEL 082-925-6222 (訪問看護) 082-925-6221 (居宅介護) FAX 082-925-6223 (共通)	
ケアレジデンス楽々園 デイサービス楽々園 クローバーヘルパーステーション	施設長 小嶋 加代子 所 長 西 幸子 所 長 小嶋 加代子
〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号 TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス楽々園) 082-943-8585 (デイサービス楽々園) 082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)	

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 (代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周辺地図



あとがき

行動制限が緩和されコロナ禍前の日常を取り戻そうとしているさなか、また新たな新型コロナウイルス変異株が広まっているようです。◆現在、感染の主流はオミクロン株の「BA.5」ですが、海外では「XBB」や「BQ.1」と呼ばれるオミクロン株の新たな変異系統が主流になりつつあります。「XBB」は通称「グリフォン」と呼ばれ10月には21か国で確認されています。シンガポールでは9月に初めて確認され10月には主流に置き換わっているそうです。「BQ.1」は通称「ケルベロス」と呼ばれ欧米を中心に48か国で確認され広島県でも既に数例が確認されています。◆これらのウイルスは幸い重症化率が低いようですがワクチンなどの免疫が効きにくく、東京歯科大学の寺嶋毅医師によると入国制限緩和で欧米との人の出入りが増え、今後は「BA.5」から「BQ.1」に主流が変わり、この広がり具合が第8波の大きさに影響するとしています。◆厚労省はこの冬1日あたり新型コロナ45万インフルエンザ30万の感染者が出ると想定しており、今できる対策として新型コロナ・インフルエンザ両方のワクチン接種、抗原検査キットや解熱鎮痛剤の早めの購入を呼び掛けています。第7波のような医療逼迫を招かないためにも皆さま方の協力をお願いいたします。

一陽会広報誌

あさひ

令和4年
秋号
vol.73

題名「秋の宮島大聖院」

撮影：一陽会クリニック 北森 初男

Contents

1. 副理事長就任のご挨拶
2. **Topics** ふれあい看護体験2022
3. **Series** 近隣医療機関のご紹介: 内藤内科医院
4. 発熱外来専用受付設置
5. サテライトクリニックご紹介: 横川クリニック
6. **Series** 「認定看護師のお仕事」について
7. **Column** いきいきさん!
8. **Series** 健康レシピ かぶの梅おかか和え

一陽会 基本理念

- 愛** 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献します。
- 和** 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努めます。
- 誠** まごころ 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うします。

一陽会では、「愛・和・誠」を是訓と定め、その理念に基づいた組織づくりを行っています。

副理事長就任のご挨拶

令和4年10月1日より、医療法人社団一陽会 副理事長に向井佳奈が就任いたしました。

このたび、医療法人社団一陽会の副理事長に就任いたしました向井佳奈でございます。

糖尿病代謝内科を専門としており、令和2年4月より原田病院の医局長の任を拝命し、医局と他部署との調整や病棟管理などの職務に携わっております。



当院は地域の二次救急を担う急性期病院ではありますが、慢性腎臓病・透析療法の他に糖尿病の診療にも取り組んでおります。糖尿病から慢性腎臓病へ進展する患者さんは近年増加しております。腎臓内科医と糖尿病内科医が早期から連携を取りながら、多職種が介入しそれぞれの患者さんに応じたチーム医療を提供することが当院の特色でもあります。

また、近年の医療・介護の状況を鑑みると、医療のみならず介護面も含めて多方面からのサポートが必要な患者さんやご家族の方が増加している現状を痛感せざるを得ません。近隣の医療機関・介護施設の方々と連携し、地域に密着した当法人であるからこそできる、患者さんやご家族の方の一助となるような質の高い医療・介護サービスの提供を目指してまいります。微力ではございますが、地域の皆さまからさらに信頼される法人として発展させていくために日々精進する所存でございます。

皆さまに“ここで診てもらってよかった”と思っていただけるよう、理事長をはじめ職員一丸となって努力してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

Topics

ふれあい看護体験2022

広島県看護協会が主催するふれあい看護体験を原田病院で実施しました。

コロナ禍のため3年ぶりの開催となりました。近隣の高校生から30名の応募があり、人数制限のためその中から11名の方にご参加いただきました。例年は部署見学や患者さんとのふれあい体験を行います。感染防止のためすべての体験を会議室で実施し、ペアになって行っていた血圧測定も今年は個々での个人防护具着脱体験に変更しました。

教育委員が注意事項の説明をしながら手本をみせ、着脱体験をしてもらったところ「こんなに暑いのか」「声が聞き取りにくい」「動きづらい」などの声があり、体験談も含め看護師という仕事の大変さを実感するとともにやりがいを感じ、看護師になりたいと思ってくれた方も多かったようです。

ふれあい看護体験を通じて看護師という仕事への理解が深まり、進路選択の一助になれば幸いです。



看護部 副部長 松村 佳江

Series

近隣医療機関のご紹介

内藤内科医院 (廿日市市佐方)

「パーキンソン病や認知症などの脳神経疾患の診療にも力を入れています。」
今回は廿日市市佐方にあります内藤内科医院のご紹介です。

当院が廿日市市佐方に開院して40年以上が経過します。地域の皆さまや近隣の医療機関に支えられ、地域医療に努めてまいりました。

2016年からは脳神経内科専門医である梅本かさね医師も加わり、パーキンソン病や認知症などの脳神経疾患の診療にも力を入れています。

原田病院には腎臓内科をはじめとした幅広い専門科があり、病診連携を密にすることで、より患者さんが安心して医療を受けられる環境を作っていると感じています。患者さんに変化があったときも迅速に診察していただき、また、入院が必要な際には快く対応していただいております。



高齢化が進む中、脳神経内科の専門性も活かしながら、これからも地域の内科としてお役に立てるよう、努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

内藤内科医院 院長 内藤 正司

- 所在地 〒738-0001 廿日市市佐方 4-8-31
TEL:0829-32-8626 FAX:0829-32-3363
- 診療科目 内科・脳神経内科・循環器内科・糖尿病内科
- 診療時間 午前 9:00~12:00
午後 15:30~18:00(木曜日・土曜日は休診)
- 休診日 日曜日、祝日
- 駐車場 15台



発熱外来専用受付設置

新型コロナウイルスの感染対策として、発熱・咽頭通・咳などの症状がある患者さんと一般患者さんの接近を避けるため、原田病院の裏手に発熱外来専用受付を設置しております。

感染症拡大防止に
ご協力ください



発熱外来を受診される方は職員が所定の場所までご案内いたしますので、必ず事前にお電話にてご連絡ください。



- TEL:082-923-5161
- 発熱外来受付時間 午前:10時~11時30分
午後:15時~17時
※流行の状況によって変更します

サテライトクリニックご紹介： 横川クリニック

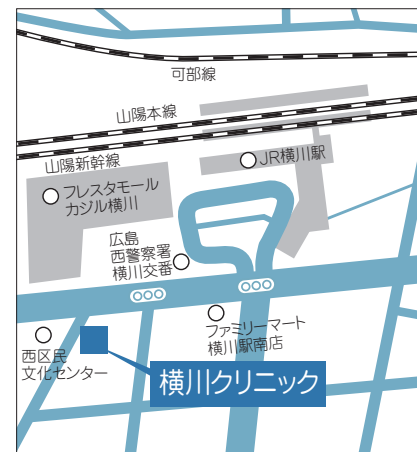
一陽会では原田病院のほかに3施設のサテライトクリニックがあり、それぞれに特徴を持った医療を行っています。今回は西区横川町・横川メディカルプラザ3・4階にあります、横川クリニックをご紹介します。



横川クリニックは2003年7月7日、原田病院のサテライトとして開院しました。JR横川駅から徒歩2分の場所にあり、透析を中心に、腎臓内科・一般内科の診療を行っています。比較的近くに複数の基幹病院があり、透析患者さんに緊急入院や処置が必要となった際にバックアップが受けられる連携体制が整っていて安心できる医療を提供しています。



患者さんにとって居心地のよい環境で透析を受けて頂けるよう可能な限り努力しようという内藤院長のモットーを基に、スタッフ全員で日々前向きに取り組んでおります。またスタッフのチームワークがとても良く、患者さんのためにできることを考え意見交換することも多々あります。院長が掲げる患者さん第一の意識とスタッフのチームワークを重要とする想いが今はスタッフ全員の想いとなっています。



◆横川クリニックの特徴的な取り組み



①透析液調剤室



①全ての透析監視装置でオンラインHDFが行えること、そのために透析液の清浄度を高く維持できるように透析液調剤室をクリーンルーム化しました。



②超音波エコーの活用です。透析治療の中で患者さんが最も苦痛に感じるのが穿刺と言われています。穿刺は患者さんだけではなくスタッフも緊張で苦痛に感じてしまうことがあります。超音波エコーを使用して穿刺を行うことにより、血管の走行や深さを画像で把握することができ、穿刺が困難な患者さんの血管を失敗することなく実施することができます。また超音波エコーで定期的にシャントの検査を行うことで、状態の把握、異常があった場合の超音波ガイド下血管内治療(PTA)の迅速な施行などを横川クリニックで行うことができます。



③新型コロナウイルスをはじめとする感染対策として、通常の入り口とは別の入り口から感染対策を施した個室にご案内できるように動線を工夫しております。

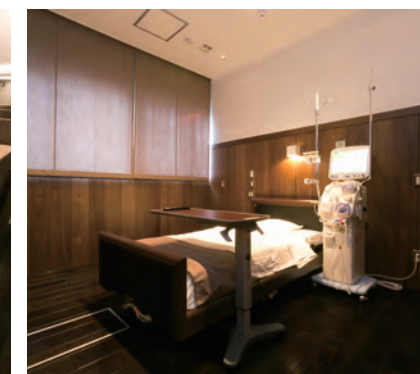


②超音波エコーによるシャント検査・穿刺

は患者さん側の様々な事情や、通常の透析室では長時間透析を受けることに耐えられないというハードルがあります。このような問題に対して院長より「良い治療は自然と望まれるようになるから、まずは患者さんの目線でスタッフ自身が長時間過ごしたくなるような環境を考えよう」とアドバイスを頂き真摯に検討しました。体圧が分散しやすい高性能マットレスを使用したり、大画面のテレビを準備したり、プライバシー保護と人の気配を分かりにくくするために半個室の壁を高くするなど工夫しました。実際に長時間透析施行中の患者さんからは、「人目を気にしないでいいからリラックスして長時間透析を受けられる」、「薬の量が減った」、「以前より元気になった」、「以前の透析には戻れない」等の嬉しいコメントを頂いております。



③感染対策をした個室透析室



④長時間専用透析室

これからも患者さんと一緒に何が出来るのかを考え、患者さんの心情に寄り添った施設として地域に貢献していきたいです。

横川クリニック 透析室 技士長 昌木 秀介

「認定看護師のお仕事」について vol.1

一陽会では4分野5名の認定看護師が活躍しています。
今回は「皮膚・排泄ケア認定看護師」として病棟に勤務している
鳴谷悦子さんにお話を伺いました。

●皮膚・排泄ケア認定看護師とは

「創傷・ストーマ・失禁看護」において専門知識を持った看護師です。
また認定看護師には「実践・相談・指導」の役割が課せられています。

●実践・相談

病棟で看護をさせていただいている傍ら、外来の患者さん、訪問看護ステーションの利用者さん、関連施設入所中の方々の創傷・人工肛門のトラブルなどの相談を受けています。また訪問看護師と共にご自宅に同行することもあります。チームでの活動としては毎週水曜日には専任医師を中心に「褥瘡回診」を、毎週木曜日には泌尿器科の医師を中心に「排尿自立ケア回診」を行っています。褥瘡回診では医師以外にも薬剤師・栄養士・リハビリ科のスタッフも同行するため栄養面・薬剤面・リハビリ面からも褥瘡予防や治療方法が話し合っています。排尿ケア回診では泌尿器科医の専門性の高い知識を参考にリハビリ面・看護面からどうしたら管などを使用することなく自分で自然に排尿が行えるようになるか検討しています。

●指導

スタッフ教育として新人職員を対象とした勉強会、新卒スタッフに対しての勉強会、病院全体に対しての勉強会を行っています。また質問があればその都度返すようにしています。専用のPHSも持たせて頂いており、なるべく素早く対応できるように心がけています。なによりもスタッフの皆と一緒に考え、患者さんにとって一番いい方法を見つけることが大切だと思っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師
鳴谷 悦子



「高齢者のスキンケア」についてワンポイントアドバイス

スキンケアの定義は「皮膚の生理機能を良好に維持する、あるいは向上させるために行うケアの総称である。」と唱えられています。

洗浄剤は高齢者や皮膚の弱い方は弱酸性のものを選択してください。皮膚を傷つけないためにもしっかりと泡立て優しく洗ってください。また洗浄剤は皮膚に残ると痒みなどの原因になってしまいますのでしっかりと洗い流し、擦らず押し拭きでふき取ってください。洗浄剤での洗いすぎも皮脂膜を奪い乾燥に繋がりますので注意が必要です。現在では洗い流さない洗浄剤もあるため用途によって使い分けも可能になってきています。



保湿剤は可能であれば1日2回以上塗布するのが効果的と言われています。入浴後などはできるだけ10分以内に塗布するよう心がけてください。塗布方法として摩擦が生じないように毛の流れに沿って塗ってください。高齢者や皮膚が弱い方などは伸びのよいクリームやローションタイプがお勧めです。

『皮膚は最大の臓器』ともいわれています。一番外側で外敵から私たちを護ってくれている臓器を強固なものにして元気に過ごしましょう。



いきいきさん

一陽会クリニック
看護師 矢野 悠司



患者さんのためにできることを
考えていきたいと思っています。



一陽会クリニックに入職して8年が経ちました。最初はグランホームあさひに介護福祉士として1年働かせていただきましたが、看護師になりたいと相談したところ看護に携われるようクリニックで看護補助者をしながら、看護学校に通わせていただきました。

看護学生時代に、患者さんから「学校通いながら働くのは大変じゃろうけど頑張っね」など応援や励ましの声をたくさんかけて頂きました。

励まし、応援してくれる方がいることがとても力になることを実感することができました。看護師になった今、患者さんのためにできることを考え、安心・安全な医療を提供できるよう日々努力していきたいと思っています。

健康レシピ かぶの梅おかか和え



かぶに多く含まれる消化酵素のアミラーゼは、でんぷんの消化を助け、胃もたれや胸やけの予防改善に効果がありますが、熱に弱い性質があります。今回のレシピのように生で食べるとアミラーゼの効果を得ることができます。また、小かぶは皮が軟らかいので皮ごと食べると栄養を無駄なく摂取できます。

かぶが美味しくなるこれからの季節にいかがでしょうか。

エネルギー：35Kcal／
たんぱく質：1.4g／脂質：0.1g／塩分：0.6g

《材料(2人分)》

小かぶ	2個(140g)
練り梅	大さじ1/2(8g)
調味料しょうゆ	小さじ2/3(4g)
A砂糖	大さじ1/3(4g)
かつおぶし	2g
塩(塩もみ用)	

《作り方》

- ①小かぶは良く洗い、薄くいちょう切りにし、塩小さじ1/3(2g)をふる。しんなりしたら水で塩を洗い、水気を絞る。
- ②ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、①を加えて和え、かつおぶしも加えて和える。



管理栄養士 長畑 奈緒美